

真空管／トランジスタ出力切換付
USB D/Aコンバーター内蔵
ヘッドフォンアンプ

TRX-HD82

取扱説明書

平成24年9月21日 第2.1版



この度はトライオード製品をお求め頂きまして誠にありがとうございます。
本機の機能を十分にお楽しみ頂く為にも、ご使用前に本書を良くお読み頂き、正しくご使用下さい。また、巻末に記した付属品が全てそろっている事をご確認下さい。

TRIODE

株式会社 トライオード

〒343-0032 埼玉県越谷市袋山609-3
TEL : 048-940-3852
FAX : 048-940-3853
e:mail : web@triode.co.jp

警告

・以下の内容を無視して誤った取扱をすると火災や感電による人身事故の原因となります。

絶対に裏蓋を開けたりしないで下さい。故障や感電の原因となります。特に本機は内部に高電圧を使用するため、内部接触による人体の損傷や火傷などの責任は負いかねます。

万が一、以下の様な異常が生じた場合、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて下さい。そのまま使用すると火災や感電の原因となりますので直ちに弊社へ修理をご依頼下さい。

- ・煙が出たり異臭がする
- ・本機の内部に水(その他の液体)や異物が入った
- ・落したり、本体を破損した

本機を交流(AC)100V以外の電源で使用しないで下さい。それ以外の電源電圧や船舶等の直流(DC)電源には直接接続しないで下さい。故障や火災、感電の原因となります。

電源コードを傷つけないで下さい。(重い物の下敷きになる／無理にねじ曲げたり引っ張ったりする／加工する／加熱する)電源コードが破損(芯線が露出、断線)すると火災や感電の原因となります。また、電源プラグにホコリがたまらない様にして下さい。プラグとコンセントの間にホコリがたまると火災や感電の原因となります。定期的にプラグをコンセントから抜いてホコリを取り除いて下さい。

以下の内容をお守り下さい。内容に反したご使用をされると火災や感電、火傷の原因となります。

- ・本機の上や周囲に花瓶や水などが入った容器を置かない
- ・本機を改造しない・本機の通風口をふさがない

注意

・以下の内容を無視して誤った取扱をすると感電やその他の事故により怪我や物的損害の原因となります。

必ず付属の真空管カバーをご使用下さい。使用時は真空管が高温になるため直接接触すると火傷の原因となります。特にお子様の手の届かない様にして下さい。

ふらついたり傾いた所などの不安定な場所や、湿気やホコリの多い場所、調理器具や加湿器等の油煙や湯気が当たる場所へに設置しないで下さい。落下による怪我や発煙、発火の原因になります。

電源コードは以下の様な取扱いをしないで下さい。破損による感電や発火の原因になります。

- ・プラグを抜く時にコードを引っ張る
- ・ぬれた手でプラグを抜き差しする
- ・熱器具のそばに近づけて設置する

ヒューズは必ず規定の物をお使い下さい。規定を越える値(アンペア数)を使用すると火災や事故の原因となります。

長期間ご使用にならない時は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いて下さい。また移動やお手入れの時は、電源を切り真空管が冷えてから電源プラグをコンセントから抜いて行って下さい。

電源を入れる時は音量を最小にして下さい。突然大きな音が出て聴力障害の原因になる事があります。また、ご使用時は適切な音量でご鑑賞下さい。長時間大音量でお聴きになると聴力障害の原因となります。

保証について

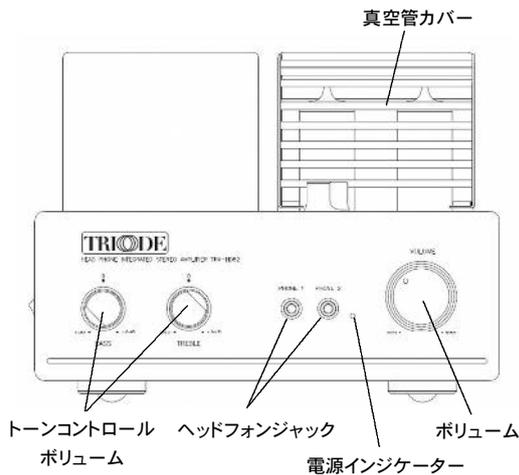
本機は取扱説明書に記載された注意事項等に添った正しい使用状態で保証期間内に故障が生じた場合は、弊社にて無償で修理致します。但し、以下の様な場合、保証の対象外となりますのでご注意下さい。この場合の修理は全て実費とさせていただきます。

- 1) お客様による本製品のパーツ交換を含む改造を行った場合
- 2) 本製品純正品以外の真空管を使用した事によりアンプ本体や他の真空管に故障や損傷が生じた場合、または接続された器機により不具合が生じた場合
- 3) 取扱説明書に記載されていない操作方法やご使用上の誤りによる故障や損傷
- 4) 輸送、移動、落下等による故障や損傷
- 5) 落雷、地震、風水塩害、その他の天変地異や、公害、火災、異常電圧による故障や損傷
- 6) お客様の希望による真空管の交換や調整、その他メンテナンスの時

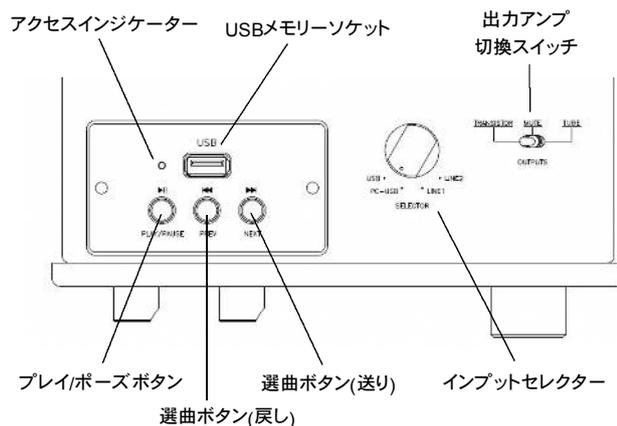
※本機のご使用によって生じた商業上及び資産上その他いかなる損害に対しての賠償責任は負いかねますのでご了承下さい。

各操作部及び接続端子

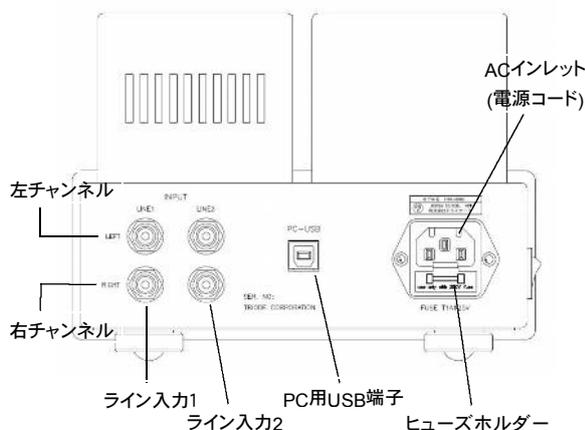
・前面パネルスイッチ類



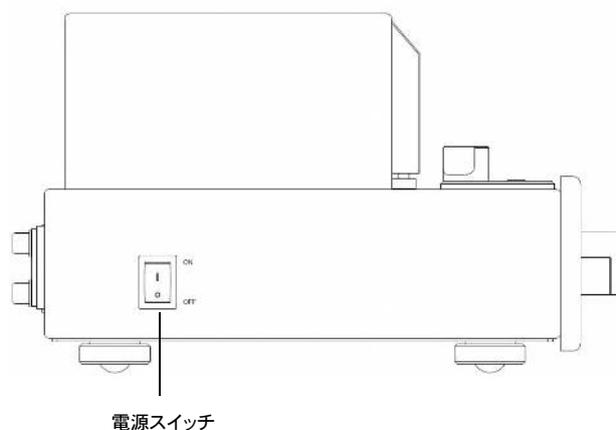
・上面スイッチ類



・背面端子類



・側面スイッチ



接続と使用方法

- 1) 左側面の電源スイッチが「OFF」になっている事を確認し、ACインレットに電源ケーブルを差し込みます。
- 2) 各入力端子の接続を行います。

・USB :

保護キャップを外し、予め音楽ファイルを記録したUSBメモリーを上面のUSBメモリーソケットに差し込み再生します。再生できるファイルはMP3、WMAです。操作は上部パネルのプッシュスイッチで行います。プレイ/ポーズボタンで再生・停止ができます。再生中はアクセスインジケータが点滅し、停止中は点灯します。選曲ボタンで再生ファイルを選択します。1回押す毎に1曲ずつ送り戻しが出来ます。再生曲順はファイル名順になります。

※ファイル構造や通信速度によっては正常に再生出来ない場合もあります。

※再生中にインプットセレクターを操作しても再生状態を維持しています。再生中の曲を切換後に再度聴きたい時は、プレイボタンを押して停止するか、選曲をし直して下さい。

・PC-USB :

パソコンとUSBケーブルで「PC用USB入力」に接続します。ケーブルは別途ご用意下さい。再生・停止などの操作は全てパソコンから行います。操作方法はご使用になるソフトウェアのヘルプ等をご参照下さい。対応するサンプリング周波数は32kHz、44.1kHz、48kHz、88.2kHz、96kHz/24ビットです。

☆パソコン側での設定について

通常は本機をパソコンに接続した際に自動的に認識されますが、既に他のUSBオーディオ機器を接続している場合、ご使用の環境によっては使用するデバイスの設定を行う必要があります。その場合は以下の要領で変更して下さい。

① Windows7 の場合

本機をUSBケーブルでパソコンに接続し、電源をONにすると、「デバイスを使用する準備ができました。」というメッセージがディスプレイ上に現れます。それを確認したら、コントロールパネルを開いてその中の「ハードウェアとサウンド」の項を開き、サウンドの項の「オーディオデバイスの管理」を開きます。「サウンド」というダイアログボックスが開きますので、「TE7022 Audio w/ SPDIF」を選び、下の「規定値に設定」をクリックします。(アイコンの下にチェックマークが点きます。)次に同じダイアログボックス内の「プロパティ」をクリックし、「S/PDIFインターフェイスのプロパティ」を開きます。その中の「サンプルレート」に表示されている「96kHz」以下の全ての「チェックボックス」をクリックし、チェックマークを表示させます。(テストボタンをクリックすると出力の確認が出来ます。)設定が完了しましたら、「OK」ボタンをクリックして各ダイアログボックスを閉じ、コントロールパネルを終了します。必要に応じて「レベル」タグを開き、音量を調整して下さい。



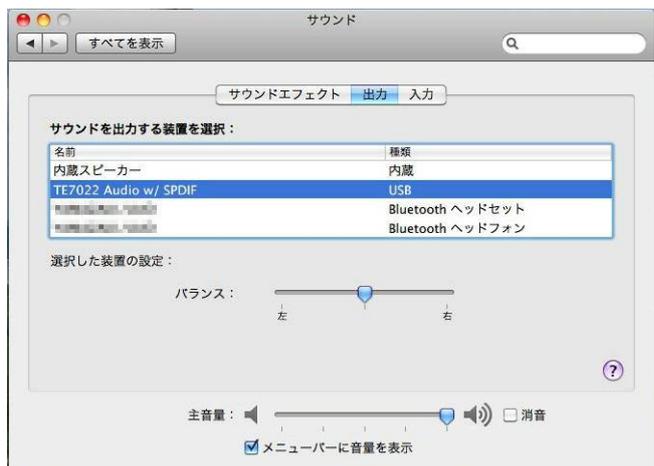
② WindowsXP の場合

本機をパソコンにUSBケーブルで接続するとWindows7と同様に使用準備ができたというメッセージが現れますので、コントロールパネルより「サウンドとオーディオデバイスのプロパティ」を開き、その中の「オーディオ」のタグをクリックします。その中の「音の再生」の項の「規定のデバイス」の中から「TE7022 Audio w/ SPDIF」を選びます。必要に応じてその下の「音量ボタン」をクリックし、音量を調節して下さい。



③ Mac OS X の場合

本機をUSBケーブルで接続後、必要に応じて「アップルメニュー」→「システム環境設定...」→「サウンド」と進み、出力に「TE7022 Audio w/ SPDIF」を選択して下さい。



※必要に応じて「バランス」と「主音量」を調整して下さい。

「Audio MIDIの設定」を開き、出力に「TE7022 Audio w/SPDIF」が選択されている事を確認し、フォーマットから「96000.0Hz」を選択して下さい。

※必要に応じて音量を調整して下さい。



☆表示色や内容はお使いの環境や設定により異なる場合がございますのでご了承下さい。☆

※PC-USB及びUSBモードをご利用の際にスクリーンセーバーが動作したり、ブラウザなどがページの更新を行ったりするとパソコンのスペックによってはメディアプレーヤーなどの処理が途切れ、音飛びが生じます。本モードをお楽しみ頂く時はなるべくそれらを使用しない事をお勧め致します。

・ LINE1およびLINE2 :

CDプレーヤー等のアナログ信号を入力します。

※本機にレコードプレーヤーを接続する時は、別途フォノアンプ(フォノイコライザー)をご用意下さい。

※接続するRCAピンコードは別途ご用意下さい。

3) インプットセクターで聴きたいソースを選びます。

4) ヘッドフォン端子にヘッドフォンを接続します。

ヘッドフォン端子はφ3.5mmのステレオミニジャックに対応します。φ6.3mmのステレオ標準ジャックをご使用の場合は別途変換プラグをご用意下さい。

※ヘッドフォンジャックには同時に2本のヘッドフォンを接続する事が出来ませんが、双方のインピーダンスの影響で1本で聴いている時と音量が変わる事があります。

5) 上面の出力アンプ切り替えスイッチで出力するアンプのタイプを選びます。

TUBE : 真空管アンプ出力を聴く

TRANSISTOR : トランジスタアンプ出力を聴く

MUTE : 出力無し

6) ボリュームを左に絞った状態で左側面の電源スイッチをONにします。

※お使いになるヘッドフォンのインピーダンスの違いにより真空管アンプとトランジスタアンプの間に音量差が生じます。インピーダンスが低い場合はトランジスタ出力の方が、高い場合は真空管出力の方が音量が大きくなります。ボリュームを上げたままアンプ出力を切換えると急に大きな音が出る事がありますのでご注意下さい。

7) お好みにより、BASS(低音)とTREBLE(高音)を調整して下さい。

TRX-HD82仕様

- 回路形式：真空管A級シングルステレオプリメインアンプ(トランジスタ出力併設)
- 使用真空管：6BM8(ECL82) 3-5極管×2本
- PC-USB：16/24bit 32k/44.1k/48k/88.2k/96kHz
- USBメモリー：MP3/WMA対応 32k/44.1k/48kHz
- トーンコントロール：BASS (±6dB) TREBLE (±6dB)
- 定格出力：真空管 = 45mW×2 (20Ω) 135mW×2 (600Ω)
トランジスタ = 40mW×2 (300Ω) 120mW×2 (12Ω)
- 周波数特性：10Hz～50kHz±1dB ■SN比：89dB
- 入力端子：LINE2系統、PC-USB (Bタイプ)、USBメモリ
- 出力端子：φ3.5mmステレオミニジャック×2
- 消費電力：30W
- 外形寸法：横幅190×奥行250×高さ150mm ■重量：5kg
- 付属品：真空管カバー、取扱説明書、電源コード、予備ヒューズ×2本

※仕様は予告なく変更する事があります。

真空管カバーの取扱い

真空管カバーはまっすぐに上方へ引き抜く様に取り外します。取付の際は4本の足を取付穴に合わせ、まっすぐに押し込みます。

ヒューズ交換について

ACインレットより電源コードを抜き、ヒューズホルダー上面にある溝にマイナスドライバー等を引っかけて引き出します。ヒューズは1Aを使用して下さい。

※交換したヒューズが再び切れてしまう場合、本体に異常がある可能性がございます。その時は直ちに使用をやめ、コンセントから電源プラグを抜いて修理をご依頼下さい。



スペアパーツ

6BM8真空管：1本 5,800円 (税別)

※価格は2012年9月現在

※本機は自己バイアス回路を採用しており、真空管交換時は調整の必要がありません。使用直後は非常に高温になっており、火傷の恐れがありますので十分ご注意下さい。

製品内容や修理についてのお問合せ

TEL：048-940-3852 FAX：048-940-3853

e:mail：web@triode.co.jp

※お電話の場合は祝日を除く月曜日から金曜日の9時から17時の間に対応させていただきます。